

目次	P1…失語症者向け意思疎通支援事業開講にあたって	P2-5…失語症者向け意思疎通支援事業の様子
	P6…令和2年度春季都道府県士会会長会議報告	P7…認知症対策推進委員会の発足後活動履歴
	P8…施設紹介（山梨県こころの発達総合支援センター・介護老人保健施設ひばり苑）	
	P9…COVID-19について考える2	P10…理事会報告 P11…各局からのお知らせ・編集後記

## 山梨県失語症者向け意思疎通支援事業開講にあたって

山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会 委員長 赤池三紀子  
(湯村温泉病院)



令和2年9月12日より、第1回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会がスタートしました。受講申し込み者は定員10名に対し、予想をはるかに超えた37名、当運営委員会としては文字通り嬉しい悲鳴でした。受講者は、圏域、年齢層、職業等を検討し、県内10地域から16名を決定しました。講習会の前には事前説明会を実施し、この養成が講習を受けるだけでなく修了者は県に名簿登録され来年度以降に派遣されることに加えて、40時間の講義や実習などのカリキュラムについても詳しく説明し、来年3月までの長期にわたる養成事業への受講目的や意志の確認を行いました。このような過程を踏まえ第1回講習会に16名全員が臨みました。

第1回講習会では講習開始に先立ち、開講式を執り行いました。事業主催である山梨県障害福祉課古澤課長、運営委託先である当会内山会長、この事業の実施決定にあたりご支援をいただいた県議会議員から、受講者の皆様にご挨拶とエールをいただきました。この後いよいよ3時間の講習でしたが、受講者以上に講師も非常に緊張した時間となりました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため当会や会場のガイドラインに沿った対策を取りながら、失語症当事者との実習（28時間）の内容設定が一番の課題となります。また、当事者の確保だけでなく講師の言語聴覚士も国の指導者養成研修を修了した7名では足りません。当会独自の伝達講習を受講した会員25名にも補助業務を担っていただきたく、今後のご協力をよろしくお願いいたします。

第1回講習会  
9月12日

## 失語症者支援考える

甲府 12回の講座スタート



失語症者の社会参加を支えるために始まった意思疎通支援者養成講習会  
＝甲府・県福祉プラザ

言葉に関わる機能が低下する失語症の人の意思疎通を支援する人材の養成講座が12日、甲府・県福祉プラザで始まった。具体的な支援場面を想定した実習も行い、失語症者の社会参加を支える知識や会話技術の習得を目指す。

講座は県の委託を受けた県言語聴覚士会(内山暁中会長)が実施する。失語症者は「読む」「書く」「聞く」「話す」などが困難になり「コミュニケーション」に支障が生じるため、生活のしづらさや孤独感を抱えているが、これまで県内では失語症に特化した支援がなかった。

16人が受講。12日の開講式では、内山会長が「地域で暮らす失語症の人の人生が幸せになるように支援をしてほしい」と述べた。

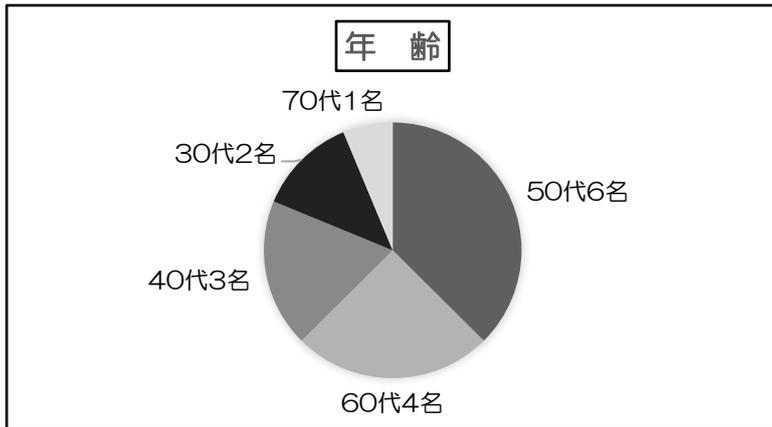
写真：2020年9月18日山梨日日新聞より

### 日程・カリキュラム

	日時	会場	講習内容
1	9月12日(土) 13:00~16:40	福祉プラザ 大会議室	開講式/オリエンテーション
			失語症概論
			意思疎通支援者とは何か
			意思疎通支援者の心構えと倫理
2	9月26日(土) 13:30~16:30	青少年センター 第1会議室	派遣事業と意思疎通支援者の業務
			失語症のある人の日常生活とニーズ
			情報交換
3	10月11日(日) 10:00~15:00	山梨市民会館	コミュニケーション支援技法Ⅰ
			コミュニケーション支援実習Ⅰ-①
4	10月24日(土) 10:30~14:30	なかとみ 和紙の里	外出同行支援
			外出同行支援 実習①
5	11月1日(日) 10:00~15:30	ぴゅあ総合 大ホール	コミュニケーション支援技法Ⅰ
			コミュニケーション支援実習Ⅰ-②
6	11月21日(土) 13:00~15:00		外出同行支援 実習②
7	12月13日(日) 13:30~16:30	山梨市民会館	コミュニケーション支援実習Ⅰ-③
8	1月16日(土) 13:30~16:30	ぴゅあ総合	コミュニケーション支援実習Ⅰ-④
9	1月31日(日) 13:30~16:30	ぴゅあ総合	コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑤
10	2月7日(日) 13:30~17:40		身体介助の方法
			身体介助実習
11	2月28日(日) 13:30~16:30		コミュニケーション支援実習Ⅰ-⑥
12	3月13日(土) 13:00~17:00	イオン	外出同行支援 実習③ 買い物
		防災会館	閉講式/修了証授与

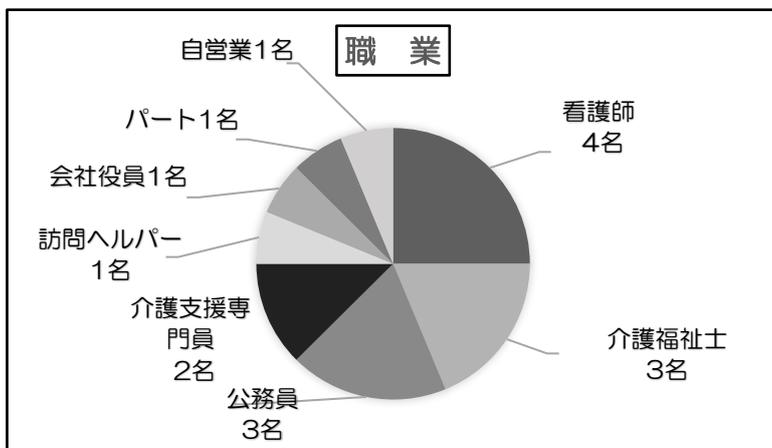
## 受講者の紹介

• 受講者：16名（女性14名、男性2名）



• 居住地

甲府市	4名
笛吹市	3名
南アルプス市	2名
上野原市	1名
甲斐市	1名
中央市	1名
都留市	1名
韮崎市	1名
北杜市	1名
西八代郡	1名

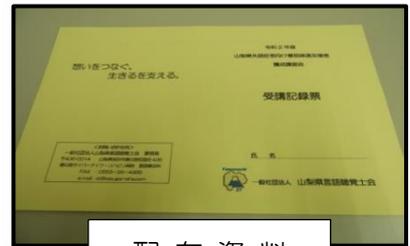


※公務員：保健福祉部  
地域包括支援センター  
総合福祉センター

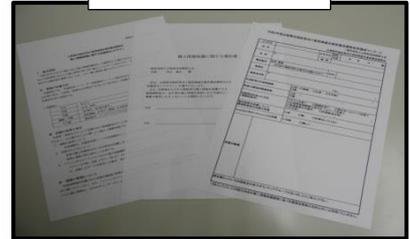
### 【受講動機(抜粋)】

- 仕事で失語症の方と関わる機会があるが、コミュニケーションが上手くいかず困ることがあり勉強したいと思った。又、日々の生活の中でも何か手助けできることがあればと思った。
- 家族に失語症者がおり、失語症についての知識や支援方法を知りたかった。支援する必要性を感じており、この制度が発展していくことを望んでいる。
- 6年前に失語症友の会に参加したことがあり、機会があればまた関わりたいと思っていた。失語症について理解し、正しい知識を学んでおきたいと思った。
- 意思疎通支援が必要な方、身体に障害を持つ方に対しての災害時の支援活動を学んでいるため必要性を感じて受講を希望した。
- 定年を機に今まで培った看護の知識、経験を生活の場で活かしてみたい。
- 以前から言語聴覚士の仕事に関心がありその役割の大切さを感じていた。失語症についての理解を深めお役に立てればと思った。

《8月29日事前説明会の様子》



配布資料



《開講式と第1回講習会（9月12日）》

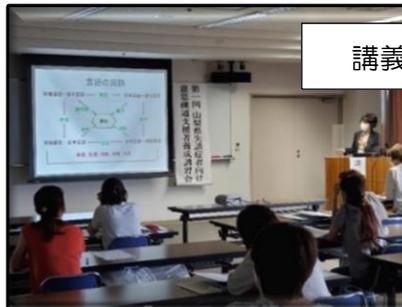
開講式：山梨県会議員挨拶



参列者と受講生の紹介



講義の様子



《第2回講習会（9月26日）》

県障害福祉課講義



グループワーク・情報交換会



講義用アクリル板消毒



《運営委員からひとこと》

**赤池三紀子**（2017年指導者養成研修終了）：前代未聞のコロナ禍の中で、今までの生活様式が難しい今年に山梨県でもやっとこの事業が実施の運びとなりました。このような情勢の中でも事業開催ができるのは当会の今までの失語症啓発活動の賜と思います。コロナニモマケズ、受講者ニモマケズ、第1回の重圧ニモマケズに進みますので、会員の皆様もぜひご支援をお願いいたします。

**河西裕子**（2018年指導者養成研修終了）：当初の予想をはるかに超えるご応募をいただき、身の引き締まる思いで開講式を迎えました。皆様の関心の高さに、この事業の意義、県士会としての責任を改めて感じています。コロナ禍での運営は難しい面も多々ありますが、受講者の熱意にこたえられるよう、3月まで運営委員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

**吉澤由香**（2018年指導者養成研修終了）：山梨県においても念願であった本事業が開始され、山梨県の県民の皆様にも失語症の正しい理解が進むことを強く願うとともに、地域で暮らす失語症の方々がより暮らしやすい社会に近づくよう、第1期生16名とともに3月まで力強く歩んでいきます。会員の皆様にもどうぞお力添えを頂きますようよろしくお願いいたします。

**池神多加子**（2019年指導者養成研修終了）：失語症友の会設立から2年、新たな一歩を踏み出すことができ期待に胸がふくらむ一方で責任の重さを感じています。“当事者は支援者に何を望むのか？”“支援者は何ができるのか？” 熱い想いを確かな力に変えられるよう受講者16名と共に悩み考えながら前へと進んでいきたいと思ひます。

**坂井李菜**（2019年指導者養成研修終了）：受講者の方々は、年代、地域、職業と様々ですが、失語症のある方の力になりたいという思いは同じです。受講者、指導者同士もコミュニケーションをとりながら、失語症のある方の生活を支えられるよう頑張りたいと思ひます。

**舟越あゆみ**（2020年指導者養成研修終了予定）：16名の受講者の皆様が失語症者向け意思疎通支援者になるという熱い想いを絶やすことなく、養成講習会を受講・修了できるよう、運営委員の皆様と共に精一杯尽力して参りたいと思ひます。地域で暮らす失語症当事者の方々がその方らしく幸せに生きられるよう、修了者が当事者のもとに派遣され個々に添った支援へと繋がるように、一步一步、頑張っていきたいと思ひます。

**市川奈弥**（2020年指導者養成研修終了予定）：山梨県内の失語症の方々にとって、生活の質・生活範囲が大きく広がる可能性のある、STにとっても夢のような事業であることを実感しています。失語症の方々が安心して派遣事業を活用することができるように、皆さんと一緒に学んでいきたいと思ひます。



## 令和 2 年度春期都道府県士会会長会議報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 赤池 洋  
(山梨大学医学部附属病院)

令和 2 年 7 月 11 日 (土) に都道府県士会会長会議が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン開催となり、慣れない環境下ではありましたが、深浦会長の挨拶、各部・委員会より報告・説明、最後には 7 月豪雨の被災県士会より被災状況の報告がありました。内容は以下の通りです。

1. 新型コロナ特別支援金として新型コロナウイルス感染拡大の事態を受け、各士会で行われている対応(例: オンライン会議システムの購入など)への支援を行う(事務部)。
2. 会場参加型研修会における感染防止ガイドラインが作成され、各都道府県士会において研修会を再開する場合に活用する(安全対策部)。
3. 施設マスター登録への協力依頼があった。現状では会員施設の統計データの集計や国への要望事項に必要なデータが収集できないなどの支障をきたしている。2 年前から周知を回しているが未登録の施設が多い。士会としても未登録施設への協力をお願いしたい(深浦会長)。
4. 協会員と県士会員との一致に関するアンケート調査への協力依頼があった。今年度の定時社員総会にて「協会正会員は都道府県士会員であるという」項目が定款に追加された。地域支援事業の拡大が進み、都道府県士会の果たす役割が益々重要となり、協会と都道府県士会との連携が一層求められるため、現時点の都道府県士会への入会状況、士会の考えを把握するためにアンケート調査を実施する(深浦会長)。
5. 都道府県士会における講座・研修会はオンライン開催で可能。基礎プログラム「症例検討・発表」もオンライン開催で可能。専門講座は 2020 年度内に過去の専門講座の一部をオンライン開催する予定(生涯学習部)。
6. 令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修はオンライン開催での実施が決まった(深浦会長)。

今後の協会活動の関しては協会ホームページや情報誌 STANDUP をご参照ください。今年度は新型コロナウイルスの影響で多くの事業が今までと異なる環境下で行われると思われませんが、今後も協会と結束しながら事業展開をしてまいります。

## 認知症対策推進委員会の発足後活動履歴

認知症対策推進委員会 委員長 山田 徹  
(笛吹中央病院)

認知症対策推進委員会は、平成30年度に山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に認知症対策推進委員会が設置されたことを機に、当土会にも委員会が設置されました。

県内各市町村の認知症施策への参画、認知症家族の会との交流をはじめ、認知症サポーター養成講座開催、講演会・勉強会の企画開催を主な活動としています。

発足初年度は委員会メンバーが3名と少ない中での活動となりました。県内各市町村の認知症施策・介護予防事業を調べることや、自治体で行っている認知症カフェに積極的に参加し、言語聴覚士の役割をアピールすることから活動を始めていきました。徐々に自治体や家族会との交流も増え、口腔フレイルや難聴といった言語聴覚士からの視点で認知症の方への接し方や環境調整、予防的アプローチを知ることができたと、多くの方に興味を持っていただくことができました。活動2年目の年には、県内2市町から介護予防事業や認知症カフェへの講師依頼があり、地域での活動の場が広がっています。

研修会の企画では、新たな試みとして、当事者の立場からの視点を学ぶ機会として、認知症の人と家族の会山梨県支部代表の田村氏をお招きしての講演会も開催しました。

委員会の研修会などを通じて、活動に賛同して頂いた会員もメンバーに加わり現在では6名で委員会活動を行っています。

3年目となる今年は、コロナ禍で活動自粛となってしまう地域での活動の場が減っている状況です。しかし、自粛下の中でも自治体や地域住民では、認知症施策や認知症者への関わりを絶やさなよう力強く活動を継続しています。

我々言語聴覚士も感染症予防を図りながら、これまで築き上げてきた行政・地域住民とのつながりを絶やさなよう引き続き委員会活動を継続していきたいと考えています。会員に向けては、地域の状況や認知症施策についての学びの場を提供できるよう研修会・勉強会の企画開催も行っていきたいと考えていますので、今後とも委員会活動にご理解ご協力お願い申し上げます。



写真左上：家族会代表田村氏講演会、右上：認知症サポーター養成講座  
左下：笛吹市介護予防事業「やってみるじゃん」、右下：昭和町認知症カフェ「言いっぱなし聞きっぱなしカフェ」

## 施設紹介

山梨県立こころの発達総合支援センター  
角田 美奈



こころの発達総合支援センターは心の問題を抱えた子ども、発達の偏りや遅れなどのあるご本人やご家族、支援者の方々を支援する専門機関です。以前は、甲府市北新の福祉プラザ内にありましたが、今年3月、甲府市住吉の子どものこころサポートプラザに移転しました。

スタッフは、医師、保健師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、心理士、臨床検査技師、作業療法士といった多職種からなります。言語聴覚士の配置は今年度からで、言語聴覚士業務の確立を目指している段階です。現在の業務は主に発達障害者・児の支援で、親担当の場合は保護者からの聞き取り、関係機関とのやりとり等を行います。子担当の場合は遊びや心理検査等で、発達面の評価を行います。

当センターは、リハの実施等の直接支援ではなく、市町村や関係機関との連携の中での間接支援を原則としているため、県士会会員の皆さまとやりとりさせていただく機会も多いかと思えます。よろしくお願い致します。



医療法人武川会介護老人保健施設ひばり苑  
リハビリテーション科 長阪 佳奈

ひばり苑は、昭和町飯喰にある武川病院に隣接する病院併設型の介護老人保健施設です。長期入所（定員 53 床）・ショートステイ（空床利用）・デイケア（定員 20 名）・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業所の5つの介護サービスを軸に高齢者の皆様の自立と在宅生活を支援しています。当苑は、老健の中では小規模施設でありながら PT・OT・ST が常勤で在籍し、職種間連携をととても大切にしています。また、利用者とのコミュニケーションに重点を置き、利用者の生活背景やニーズを丁寧に評価し、目標達成に向けた自由度の高い個別・集団プログラムを組み立てながら、退所後の生活を見据えた支援を実践するよう努めています。庭には大きな桜の木が3本あり、その先には南アルプスの山々が広がるなど季節を感じられる景色もあり、利用者と一緒に散歩や会話を楽しみながら、チームケアを大切に日々のリハビリテーションに取り組んでいます。

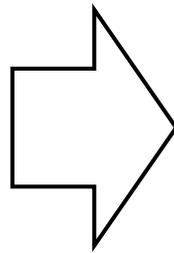


# COVID-19 について考える 2

## スタッフルームにおける工夫

山梨県立中央病院 中嶋 崇博

昨年度より続く、新型コロナウイルス感染症に対する対応に関して、病院毎に苦慮されていることと思います。当院では、新型コロナウイルス感染症への対応として、リハビリテーション科のスタッフルームにパーティションの設置を行いました。当初はプラスチック段ボールを用いて行っていましたが、設置に伴い、お互いの顔が十分に見えない状況下でのコミュニケーションになる等のデメリットもあり、現在は透明アクリル板を用いたパーティションへ変更しました。プラスチック製のものと比べると高価になってしまいますが、設置後の清掃も容易に可能であり、スタッフ間の顔の見えるコミュニケーションを継続した上で、感染予防・安心感の確保にも繋がるという部分では大きなメリットがあると考えています。現在、感染の第2波といわれており、日々対応を変化させながら診療に臨まなくてはならない現状かと思えます。これからのWithコロナの時代を安全にかつ、今までの機能を失うことなく、いかに新しい生活様式に適應していけるかが重要となります。この透明アクリル板のように、明るい光が差し込むことを祈っています。



石和共立病院  
原田 史佳

私は4月から訪問リハビリをしています。経験不足の緊張感と、ご自宅へ伺う緊張感と、そのような中感染対策も気をつけなければならず、様々な緊張感の中業務をしていたように思います。夏の暑い日のマスクは息苦しくて本当に大変でした。

日頃から密な場所へ出掛けることも少ないので、それ程私生活に影響は無いと思っていましたが、買い物ひとつでも「もし感染したら…」と気を使いながら、淡々と日々を過ごしてきました。職場の人たちと食事会等もほとんどなくなり、大きい声でガラガラ笑ったり、そういう感情の変化も少なくなったように思います。我々医療従事者は感染した場合の周囲への影響が大きいので、見えない小さなストレスは少しずつ溜まっているかもしれません。変化のある生活の中で、少し人々の心が暗くなっている印象もありますので、こういう時だからこそ、優しさを忘れずに笑顔で過ごしていきたいと思っています。



湯村温泉病院  
大柴 慎之助

当院ではスタッフ全員同室で昼食を食べていました。経験年数が浅い私は毎日肩身が狭く、早く食べ終わる食事内容にしていました。今年3月からは感染対策のため1~2名毎に昼食を食べることとなりホッとした矢先、私は不運にも一番怖いSTと同室になってしまい更に食が進まない日々を過ごしています。笑うのはここまでで1番違うことは科内の症例検討会を積極的に開催し先輩方からのアドバイスを参考に学習に取り組んでいる環境だと思います。COVIDの環境で外部の研修会が減っているからこそ、こびっと自己研鑽に努めていきたいと思っています。

## 第1回 理事会議事録

日 時：令和2年4月10日（金）18時39分～20時32分

出席理事：内山、赤池(三)、池神、市川、佐々木、高橋、河西

委任状出席：赤池(洋)、桂川、中嶋、山田、吉澤

欠席理事：小池、元木

<報告事項>

1. 第12回理事会議事録の確認を行った。
2. 令和2年度定時社員総会議案書ならびに役員・部員名簿の最終確認を行った。

## 第2回 理事会議事録

日 時：令和2年5月14日（木）19時27分～20時09分

出席理事：内山、赤池(三)、池神、石垣、佐々木、高橋、舟越、河西

委任状出席：赤池(洋)、市川、桂川、中嶋、元木、山田、吉澤

出席監事：武井徳子（委任状）

<協議事項>

1. 代表理事について協議した結果、全員一致で、内山量史を選定した。内山量史代表理事は定款の規定により会長に就任した。
2. 協議の結果、副会長に赤池三紀子、赤池洋が選任された。

<報告事項>

1. 会員への青報提供、事務局への送付物、会員動向について報告された。
2. 法人県民税、法人市民税の納入、会費の納入状況について報告された。
3. 会報編集・HP 管理部より、ニュースレターの進捗状況、HP 更新状況について報告された。
4. 失語症友の会「ふじやま」運営委員会より、第1回運営委員会について報告された。

## 第3回 理事会議事録

日 時：令和2年6月3日（水）19時00分～21時12分

方 法：Zoom システムによるWeb 会議

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、池神、石垣、市川、桂川

佐々木、高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 学術講演会、生涯学習基礎講座、症例検討会、小児領域勉強会の開催に関しては、8月以降のコロナ禍の状況により検討していくこととなった。
2. 新卒者研修については、8月以降に集合開催できるか、新型コロナ感染拡大の状況により検討していく。また、オンラインで行う場合に備え、新入会員のネット環境に関してヒアリングを行っていくこととなった。
3. 令和2年度外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査は、新型コロナウイルスによる影響により通常のリハが提供できていない状況が散見されるため、今年度は実施しないことが決定した。
4. 県立図書館へ「MCI・認知症のリハビリテーション Assistive Technology による生活支援」、「こほんごがこんなふうにもえたのよ〜39歳で脳出血! オレの片マヒ&失語な日常〜」の2冊を寄贈することが決定した。
5. 「失語症全国大会 in やまなし」については、コロナ禍の現状において名義後援および協賛金・プログラム広告費の依頼等の渉外活動が難しいこと、参加者やスタッフの健康面・安全面が最優先であること、感

染防止策を講じての歌唱や本巣、レクリエーションの実施は難しいこと等を勘案し、次年度以降の延期が決定した。

今後、メールや電話で延期の連絡、延期のチラシ作成、関係者・関係機関へのチラシ送付の作業を行っていくことが決定した。

<報告事項>

1. 令和2年度一般社団法人日本語聴覚士協会定時社員総会で当代会議員2名が書面評決を行ったことが報告された。
2. 第3回山梨県リハ専門職合同学術大会の開催延期（日程未定）が報告された。
3. 令和2年度山梨県失語症者向け意思疎通支援事業について県と協定を締結したことが報告された。
4. 今後の部会、委員会の活動については、オンラインの使用など出来ることを模索していくこととなった。

## 第4回 理事会議事録

日 時：令和2年7月17日（木）19時04分～21時09分

方 法：Zoom システムによるWeb 会議

出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、池神、石垣、市川、桂川、佐々木、高橋、中嶋、舟越、山田、吉澤、河西

欠席理事：元木

<協議事項>

1. 今年度の基礎講座は、昨年度未実施の2講座を1講座ずつ甲府市東公民館大ホールにて開催することが決定した。
2. 学術講演会の代替案について再検討していくこととなった。
3. 症例発表のマニュアルを作成することが決定した。
4. 新卒者研修については、オンラインで行うことが決定し、前半に座学、後半に実技を行うこととなった。
5. 災害時の安否確認の運用について、グループフォームを活用し、県士会のホームページから回答する方向で進めていくことが決定した。完成後に会員向けに予行演習を行うこととなった。
6. 令和2年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修は、オンラインにて開催され、市川理事、舟越理事の2名が参加することが決定した。

<報告事項>

1. 法人変更登記の完了、県士会封筒の作成、山梨JRAT 拠出金ならびにリハ専門職団体協議会拠出金の納付が報告された。
2. 自由民主党山梨県連合会への令和3年度県政・国政への要望事項の提出、クローバーの会への賛助会費納付、こども夢プロジェクトへの法人会費の納付が報告された。
3. 意思疎通支援事業受講者募集チラシと募集要項を2000部印刷し、約1700部を関係機関に送付したことが報告された。

第1・2回：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 会議室

第3・4回：Web 会議

議 長：内山量史

書 記：坂井李菜、高橋里実、佐藤淳貴

議事録作成：河西祐子

## 《各局からのお知らせ》

### 事務局

#### ＜総務部＞

- ・理事会は、毎月 Web 会議で開催しています。
- ・日本言語聴覚士協会より、「令和 2 年度新型コロナウイルス支援金」が給付されました。これは、新型コロナウイルス拡大という事態を受けて、活動の継続に向けて各士会で行われている対応への支援を目的としたものです。当会では、オンライン環境の充実に活用することが理事会で決定しており、今後、研修会等を行えるようオンライン環境の整備に取り組んでいく予定です。

#### ＜財務部＞

- ・令和 2 年度 9 月末現在、120 名の方に会費を納入いただきました。まだ納入がお済みでない方は、佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。(年会費：10,000 円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シャ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシ カイ

### 学術局

本年は新型コロナウイルス拡大防止のため、感染対策を実施しながらの開催になります。対面型講義も一部実施しますが、新たな試みとして Zoom を用いたオンライン講義も実施していきます。よろしくお願い致します。

#### ＜教育部＞

- ・第 1 回 新卒者研修会  
日時：令和 2 年 9 月 28 日（月）18：15～  
会場：Zoom で開催  
内容：「言語聴覚士の職務と役割」  
講師：内山量史先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）
- ・第 2 回 新卒者研修会  
日時：令和 2 年 10 月 21 日（水）18：30～  
会場：Zoom で開催  
内容：「認知症サポーター養成講座」  
講師：山田徹先生（笛吹中央病院）
- ・第 3 回 新卒者研修会  
日時：未定  
会場：未定  
内容：「ST のコミュニケーションに欠かせないもの」  
講師：赤池三紀子先生（湯村温泉病院）

#### ＜生涯研修部＞

##### ○学術講演会

- ・第 1 回 学術講演会  
日時：令和 2 年 1 月 14 日（木）18：30～19：40  
会場：Zoom で開催  
内容：「感染症の基礎知識/予防～現場のリハスタッフ（特に ST）が気を付けること～」  
講師：三河貴裕先生（山梨県立中央病院）

##### ○生涯学習プログラム

- ・基礎講座  
日時：令和 2 年 10 月 30 日（金）18：30～  
会場：甲府市東公民館  
講座：「協会の役割と機構」  
講師：内山量史先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）  
日時：令和 2 年 11 月 6 日（金）18：30～  
会場：甲府市東公民館  
講座：「職業運携論」  
講師：河西祐子先生（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

### 社会局

社会局は渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の 3 部体制で活動しています。

#### ＜渉外部＞

- ・令和 2 年度春期都道府県士会会長会議がオンラインで開催され、当士会代表として赤池洋副会長、協会代表として内山会長が参加されました。
- ・令和 2 年 10 月には「新型コロナウイルス感染対策に関するアンケート」を実施していきます。今後の感染対策に向けて会員同士で情報共有していきたいと思っておりますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

今後とも日本言語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行っていきます。また、各圏域で活躍されている会員と情報共有を行っていきます。

#### ＜広報部＞

例年開催されています「いきいき山梨ねりんピック」と「高校生の一日リハビリテーション体験」が新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりましたが、「高校生の一日リハビリテーション体験」の代替として「リハビリテーション啓発チラシ」を作成しました。今年度はイベント活動に制限が出ていますが、一般の方々に向けた言語聴覚士の広報及び啓発活動を行っていきます。

#### ＜会報編集部・ホームページ管理部＞

会報誌「県士会 NEWS46 号、47 号」の発行を行いました。会報誌を通じて県士会活動の周知だけでなく会員間のコミュニケーションツールとして情報を伝えていきたいと思っております。また、ホームページでは運営・管理を行い、県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。

## 編集後記

県士会員の皆様、お元気でしょうか。私がこの編集後記を書いているのが、富士山初冠雪の頃です。47号の発行は 11 月なので、もう寒い時期ですね。今年の夏も暑かったですね。私は訪リハをしていますので、病院にいる頃とは違って、運転中に四季の変化を目の当たりにしてきました。笛吹の桃はとても綺麗でした。これから紅葉の時期が楽しみです。どうか皆さんも、時々立ち止まって景色を眺めたり、四季の変化を肌で感じながら、身体も心も穏やかに、また一緒に頑張っていきたいと思います。

（原田 史佳）

### 一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

- ＜発行所＞ 一般社団法人山梨県言語聴覚士会
- ＜発行人＞ 内山量史
- ＜編集＞ 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部
- 石和 共立病院 原田史佳  
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 志摩美月  
甲府城南病院 秋山仁哉・桂川謙祐  
河村有美  
湯村温泉病院 岡大樹  
山梨大学医学部附属病院 赤池洋
- ＜事務局＞ 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内  
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436  
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
- ＜発行日＞ 2020年11月1日 第47刊

## やさしい聴こえのお手伝い



- 認定補聴器技能者在籍
- 試聴器の無料貸出
- 支援法補聴器取り扱い

写真: シグニア補聴器 スタイルレット 充電式



認定補聴器専門店

## 山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173  
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

## 私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



**Atos**  
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F  
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890  
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD

在宅 通信販売

Healthy Network



病院で使われている介護食を  
ご家庭にお届けしています。

- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細かい方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、  
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載  
されています。また、栄養指導で  
役立つコラムも多数ご紹介して  
います！

とろみ調整食品は  
トロミパワースマイル  
がオススメ！

カタログのご請求・お問い合わせは

〒191-0024

東京都日野市万願寺1-34-3

株式会社ヘルシーネットワーク

0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く

ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>

ヘルシーフード 検索

かきまぜても離水しにくい新しいゼリー

## まぜても ジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った  
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodCare  
JAPAN

〒252-0143 神奈川県相模原市 緑区橋本4-19-16 OMGビル  
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

## 摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎食頂く毎に楽しめる 10種類の味</p> <p><b>エンジョイゼリー</b></p> <p>プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 バナナ味 さや 抹茶 スイートポテト味 りんご味</p>	<p>個別の栄養状態に合わせた 食べやすさ</p> <p><b>エンジョイカップゼリー</b></p> <p>いちご味 キャラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴ味</p>	<p>原産地を指定される40g</p> <p><b>エンジョイ ハイカロリーゼリー</b></p> <p>りんご味 もも味</p>	<p>とろみの食の向上とはやさしい</p> <p><b>とろりんこ quickly</b></p>
---	---	---	---

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。  
☎ 0120-52-0050 [クリニコ] 検索 <http://www.clinico.co.jp>

産別乳業グループ栄養機能部門  
株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を  
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal(ペプチサル)とは、

「Peptide (ペプチド)」+  
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された  
低刺激性のオーラルケア製品です。  
デリケートなお口をやさしくケアし、  
お口の環境を健康に保ちます。  
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

T&K ティーアンドケー株式会社

☎ 0120-555-350

[www.comfort-tk.co.jp](http://www.comfort-tk.co.jp)



「医療専門家 × 医療機器ベンチャー × フードケア」  
連携の新しい会社「カレイド株式会社」

何気ない普段の「おいしい、もぐもぐ、ごっくん」の三拍子が、  
上手くできない方々への「あきらめない」を応援したい。

3年目のカレイド、そして

「ジェントルスティム(干渉電流型低周波治療器)」を  
よくお願いいたします。



オーエムジープファミリー QOL(生活の質)を支える「食事・嚥下ケアカンパニー」として日本から世界へ

「ケア食」で毎日を楽しむ  
株式会社 フードケア  
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444

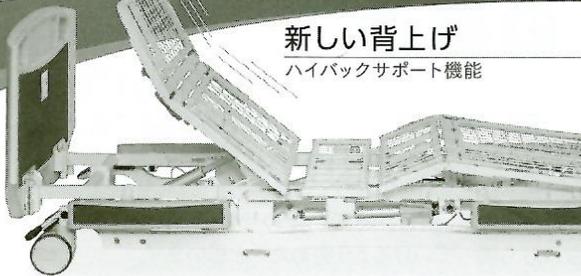
「ケア器」で毎日を支える  
カレイド株式会社  
TEL: 042-700-8830 FAX: 042-700-8840



誤嚥リスクの低減

新しい背上げ

ハイバックサポート機能



P300  
シリーズ

医療・介護ベッドメーカー

株式会社  
**プラッツ**  
<http://www.platz-ltd.co.jp/>

■関東支店 / 関東ショールーム

〒105-0014 東京都港区芝2-16-9 芝YSビル3F

TEL.03-5427-8033 FAX.03-5427-8031

■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島